◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆

愛媛県立図書館　読書会協力図書
新規受入セットのご紹介（YA　高校読書会向け）　令和2年版

YA37　親と子・教育問題

YA37－1　**ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー**

ブレイディみかこ著　新潮社　2019 年　252p

舞台はイギリス・ブライトンの元底辺中学校。著者の息子は名門小学校を卒業後、自らの意思でこの中学校に入学する。人種差別や貧富の格差が複雑にうずまく日常に、彼は驚くほどたくましくぶつかっていく。考え、言葉にし、行動していく「未熟なティーン」の姿が、実にカッコいい。中学校生活はじめの１年半を綴った傑作。

YA4　自然をみつめる

YA4-3　**恐竜博士のめまぐるしくも愉快な日常**

真鍋真著　ブックマン社　2019 年　191p

国立科学博物館の「恐竜博士」真鍋氏の幼少期から今に至るまでの歩みと、「恐竜学」の魅力を綴った一冊。偶然の出会いに導かれ恐竜化石の研究をすることになった話や、研究が進むことで新たな学説が生まれる面白さなど、めまぐるしくも愉快な日常を綴る。著者は、新居浜市出身のイラストレーター真鍋博氏の御子息。親子のエピソードも収録。

YAF　小説

YAF-23　**そして、バトンは渡された**

瀬尾まいこ著　文藝春秋　2018 年　372p

「血のつながりも、共にいた時間の長さも関係ない。」三人の父親に、二人の母親。家族のかたちが七回変わった優子は、それぞれの愛に包まれて大人になっていく。瀬尾まいこが描く食卓の風景に映るのは、その時々の家族の確かな営み。あたたかな読後感に包まれる、2019 年本屋大賞受賞作品。

◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆